



与野西北小だより

10月号

令和6年9月30日

【学校教育目標】	◇みんなと協力する子（徳育）	◇自分の力で考える子（知育）
	◇心身ともに健康な子（体育）	◇人との関わりを大切にする子（響育）
【学校経営方針】	みんなでつくる みんなの与野西北小学校	
【児童会スローガン】	せ・い・ほ・く だ・い・す・き	

【西北小学校50周年キャラクター】
西北五十丸



与野西北小学校 TEL853-0109 ホームページ <http://yonoseihoku-e.saitama-city.ed.jp/>

過程に目を向けて

校長 馬場 智哉

2学期が始まったと思ったのも束の間、ひと月が経ち10月を迎えます。まだまだ暑い日が続いていますが、子ども達は笑顔で元気に生活をしていることができます。

子ども達は現在、スポーツフェスティバルに向け、よりよいパフォーマンスを披露しようと手本を示す先生の動きをよく見て試行したり、友達同士でアドバイスを送ったり、業間の時間も練習をしたりしながら熱心に練習に取り組んでいます。「運動が苦手だからスポーツフェスティバルは嫌だな」「応援団になったからスポーツフェスティバルを盛り上げたい!」「失敗しないか心配だ・・・」子どもたちは様々な思いを胸に抱いています。1年生にとってはハラハラドキドキの初めてのスポーツフェスティバル、6年生にとっては小学校生活最後のスポーツフェスティバル、皆にとって思い出深いスポーツフェスティバルになることを願っています。

さて、今夏、パリでオリンピック／パラリンピックが行なわれ、選手たちのパフォーマンスに釘付けになった方も多いかと思います。世界中の選手の皆さんが一生懸命に競技する姿は、私たちに感動を与えてくれました。

さて、ピエール・ド・クーベルタン男爵という人物を御存じでしょうか。クーベルタン男爵は「近代オリンピックの父」と呼ばれ、近代オリンピックを提唱した人物です。「オリンピックの理想は人間を作ること。参加までの過程が大事であり、オリンピックに参加することは人と付き合うこと、すなわち世界平和の意味を含んでいる」と考えていたクーベルタン男爵は、「オリンピックで重要なことは、勝つことではなく参加することである」という言葉に感動し、「人生にとって大切なことは成功することではなく努力すること」という趣旨のスピーチをしたそうです。子ども達にも、このスポーツフェスティバルに向けての取組を通して、友達や教職員と大いに関わりながら努力する過程の大切さを実感してほしいと考えております。

その結果として、子ども達は本番当日、練習の成果を発揮することができないかもしれません。転んでしまうかもしれません。しかし、子ども達は、現在、目標に向かって、友達と協力し、沢山の汗を流しながら努力を重ねています。皆様におかれましては、当日の声援だけでなく、当日に向けて頑張っている子ども達の過程に目を向け、前向きに取り組むことができるような励ましの声掛けをお願いします。

また、昨年度の9月初旬はインフルエンザ等の流行により、学年閉鎖や学級閉鎖を余儀なくされました。体調にはくれぐれもご留意いただきますようお願い申し上げます。

年間の生活目標：気持ちのよい あいさつをしよう／ろう下は 右側を しずかに歩こう

10月の生活目標：本をたくさん読もう【読書月間】

安全点検の結果：9月の安全点検の結果、異状ありませんでした。

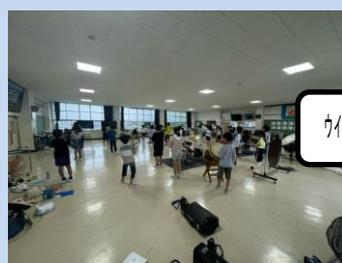


スポーツフェスティバルに向けて

応援団



ウインド・アンサンブル



実行委員



1年生



令和6年度スポーツフェスティバル スローガン
一致団結して笑顔あふれる最高の思い出にしよう

6年生



2年生



3年生



4年生



5年生



【校長室より①】

1学期の話になりますが、7月7日(日)に青少年育成八王子中学校地区会主催の「朝まんじゅう体験講座」が行われました。20名の児童が参加し、まんじゅうの生地をねり、あんこを包み込む体験をしました。この地域では、朝にまんじゅうを食べる習慣があったそうです。子ども達は当時の話を聞き、楽しくまんじゅうづくりに取り組みました。子どもたちに多様な学びの場を作ってくださっている育成会の皆様に、この場を借りて感謝申し上げます。



【校長室より②】

9月12日(木)3年生がイオンモール与野店を見学しました。昇降口で行われた出発式では、実行委員の児童3名が、はっきりとした声で上手に会を進行したり、代表の言葉を発表したりすることができました。その立派な姿に皆が感心させられました。

【校長室より③】

9月13日(金)にスクールサポートネットワーク連絡協議会が行われました。スクールサポートネットワークとは、地域全体で未来を担う子どもたちをはぐくむため、学校とPTA、ボランティア組織、地域諸団体、社会教育施設、民間企業、行政機関等の幅広い地域住民等を結ぶネットワークです。本校では本年度より通学班登校ではなくなったことを受け、児童の登下校の様子を中心に情報交換を行いました。登下校の安全確保に向けては地域・保護者・学校の三者が一体となって安全を確保する体制づくりが不可欠です。防犯ボランティアや保護者の皆様に見守っていただいているところではありますが、歩道を並んで歩くこと等について繰り返し指導をお願いします。

